

第2章 人口動態

1 現状と課題

(1) 本市人口は88,144人(R3.4.1現在)となり、コロナ禍での婚姻・出産控えなどによる出生数の減少や、タイ、フィリピンなどの東南アジア諸国を中心とした外国人転入者の減少により、人口が前年比で172人減少し、**自然・社会増減ともに減少したものの**、人口ビジョンで設定した目標人口推計を上回る水準を維持した。

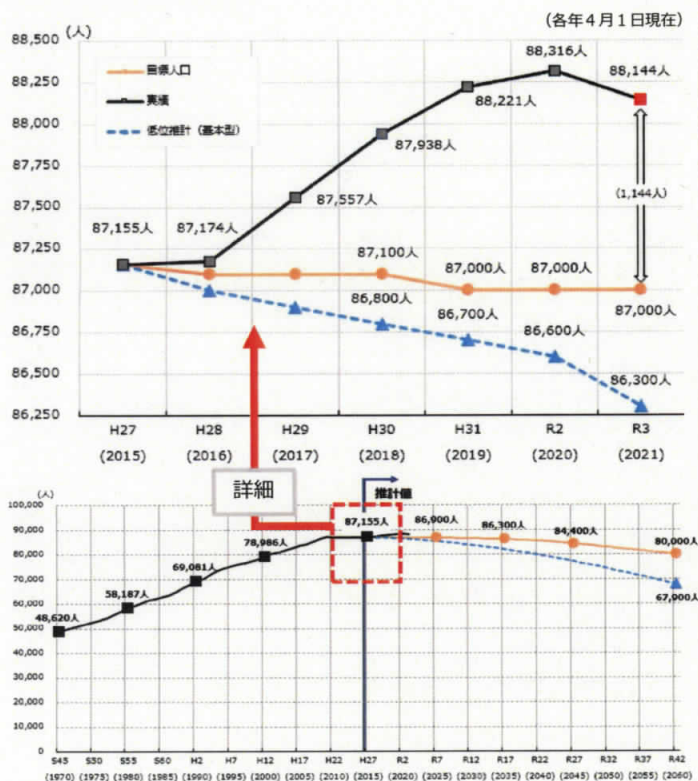
(2) 人口動態は、令和元年も若年女性人口の減少が続く、出生数が前年比で65人減少した一方、**子育て世代(30歳代～40歳代前半)の市外への転出は改善傾向**にあるため、引き続き転出の抑制に向けた対策を行っていく。(合計特殊出生率については、今秋県の公表後整理します)

(3) 令和2年国勢調査の人口速報値では、静岡県人口は3,635,220人となり、前回の平成27年調査から65,085人(1.8%)減少した。**前回調査から人口が増加した市町は、本市と菊川市、掛川市、長泉町の3市1町のみ**となった。

2 人口推計

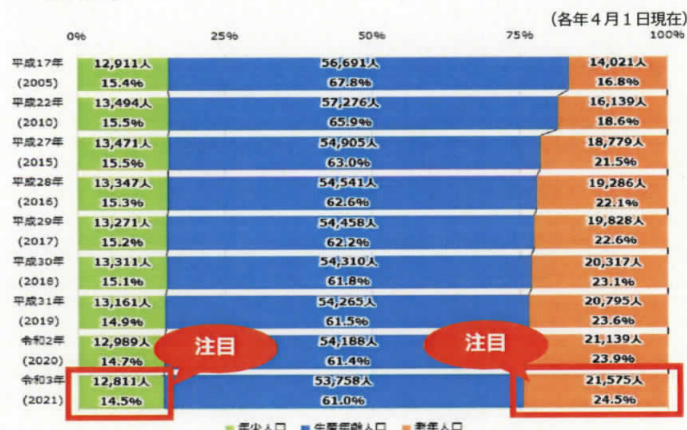
(1) 人口推移

人口は減少(前年比▲172人)したものの**目標人口を上回る水準を維持**



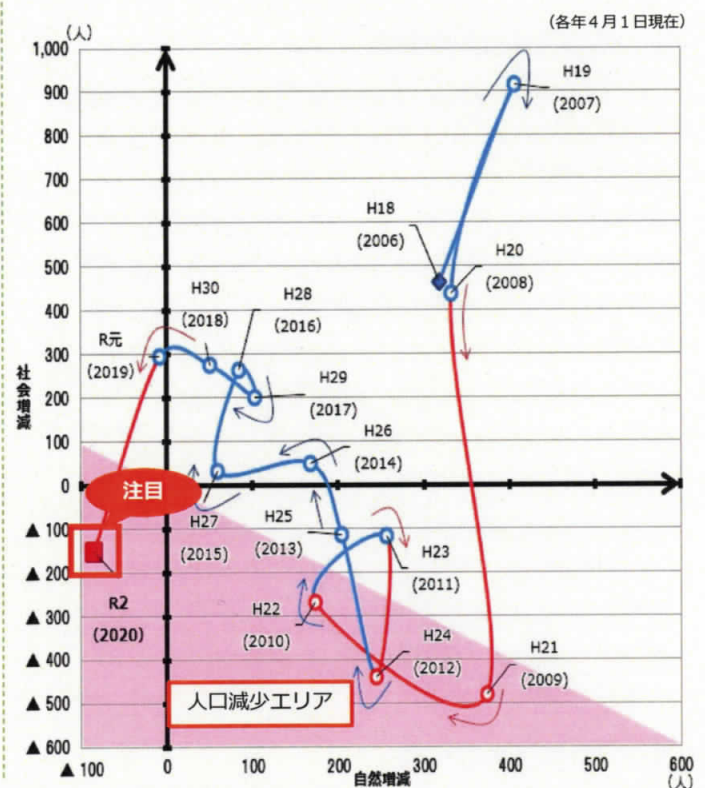
(2) 3区分別人口の推移

少子高齢化が進行(前年比年少人口▲0.2%、老年人口+0.6%)



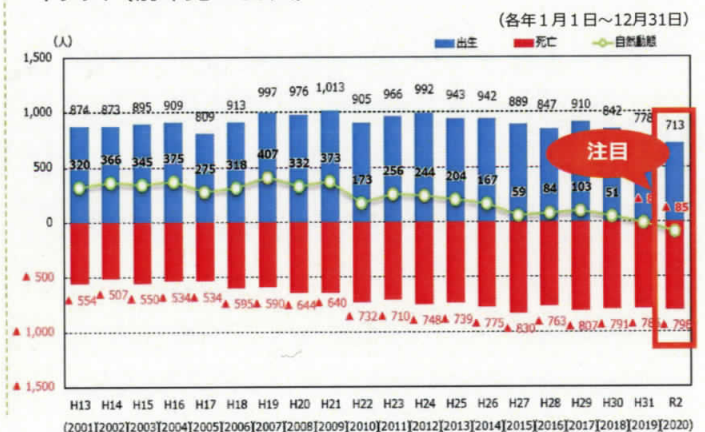
(3) 自然増減と社会増減

自然増減・社会増減ともにマイナス(前年比▲77人・▲445人)となり人口減少エリアに突入



(4) 自然増減の推移

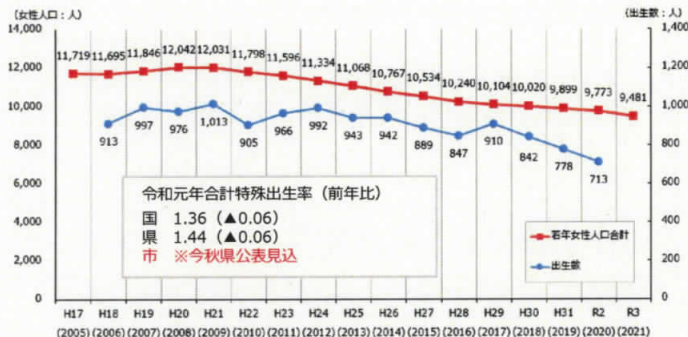
出生数が700人台前半まで減少し自然増減は引き続きマイナス(前年比▲65人)



3 出生に関する状況

(1) 若年女性人口と出生数の推移

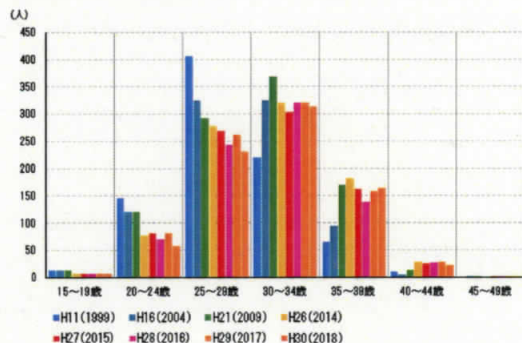
若年女性人口も減少が続く（前年比▲292人）



(2) 母親の5歳階級別出生数の推移

20歳代の出産が減少

30～34歳代の出産が最多、晩産傾向が依然強い



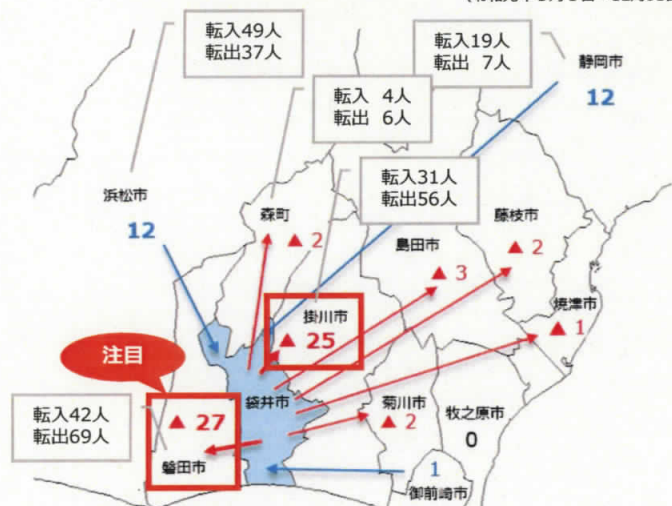
※H31データは今秋、県の公表後追加します。

4 子育て世代の動向

(1) 子育て世帯（0～9歳）の転出入状況

子育て世帯の近隣市への転出超過が続く

（令和元年1月1日～12月31日）



(2) 5歳階級別増減人数

子育て世帯の近隣市への転出超過が続く

（各年4月1日現在）

注目	H28	R3	増減
年少			
0～4歳	4,465	3,801	-
5～9歳	4,534	4,413	▲ 52
10～14歳	4,348	4,597	63
15～19歳	4,230	4,320	▲ 28
生産年齢			
20～24歳	4,123	4,328	98
25～29歳	5,096	4,644	521
30～34歳	6,208	5,309	213
35～39歳	6,368	6,094	▲ 114
40～44歳	6,755	6,422	54
45～49歳	5,687	6,753	▲ 2
50～54歳	4,956	5,673	▲ 14
55～59歳	5,335	4,946	▲ 10
60～64歳	5,783	5,269	▲ 66

5 他市町との比較

(1) 令和2年国勢調査〔県人口速報値〕

35市町のうち31市町で人口が減少、4市町のみ増加

増加数（人）			増加率（％）		
1	袋井市	2,093	1	長泉町	2.4
2	菊川市	1,060	2	袋井市	2.4
3	長泉町	1,034	3	菊川市	2.3
4	掛川市	387	4	掛川市	0.3

減少数（人）			減少率（％）		
1	静岡市	11,230	1	西伊豆町	13.9
2	浜松市	6,825	2	川根本町	13.7
3	沼津市	6,022	3	下田市	11.9
4	熱海市	3,311	4	松崎町	11.7
5	伊豆市	3,053	5	伊豆市	9.7

(2) 県内高齢化率調査

県の高齢化率は過去最高の29.5%

※袋井市＝23.9%（県内23市で一番「若いまち」）

<令和2年4月1日>

高齢化率	市町数
40%超	10
35%超40%以下	0
30%超35%以下	8
25%超30%以下	14
20%超25%以下	3
20%以下	0

